

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	観察記録・生活記録に記録する場合、利用者の言葉や行動をそのまま記録することだけが目的となってしまうことが多く、その要因・原因まで追究した記録になっていない。	日常生活を記録する時は、職員の目線だけでなく利用者本人の目線で捉えた記録にする。そうすることで利用者が生きがいを感じ、希望に近い生活に向けてのケアプランを目指す。	一人ひとりにもっと関心をもった心で接し、変化に気づき要因・原因を考えて、その人の心の中を考えた記録にする。記録を基にその先の支援を考える際には、利用者の喜び、嫌悪等アセスメントを行い具体的なケアプランに役立てる。	3ヶ月
2	1	介護者各自がホームの目標・理念への振り返り、達成度の確認が不十分な為、目標に対する意識が希薄で全体に浸透していない。	入居者が居心地の良い生き生きとした暮らしの出来るホームづくりをする。この理念に向けて介護者各自が「お一人おひとりをありのまま受け入れる。」「笑顔でゆとりを持って対応する。」「待たせず待つ。」この三点を目標にする。	目標に対する成果と反省し、介護者各自がホーム全体の現状をしっかりと把握する。反省したことは今後どのように改善していくのか、成果のあったことは共有性を深め話し合う。2か月に1度は各自が振り返り、半年毎に話し合う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。